

組合員各位

## 第 59 回通常総代会の決議報告

日 時：令和 4 年 6 月 28 日（火）午後 2 時  
場 所：愛知県医師会館 9 階大講堂

第 1 号議案 第 59 期(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)事業報告及び計算書類等(貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案)\*1 承認の件  
原案の通り承認可決され、期末出資配当金は 1 口あたり 800 円と決定いたしました。

第 2 号議案 令和 4 年度事業計画\*2 及び収支予算(案)承認の件  
原案の通り承認可決されました。

第 3 号議案 役員全員任期満了に伴う改選の件

[理事]

柵木充明	野田正治	浅井清和	加藤雅通
樫尾富二	吉兼正文	岩瀬敬紀	森 孝生
松島英夫	山本 楯	権田隆実	舘 敏雄
服部達哉	中田耕太郎	宇野岳人	堀内 洋
江口武史	高橋功典		

以上 18 名が選任され、同日それぞれ就任いたしました。

[監事]

龍華二郎	伊藤克昭	城 義政	市川朝洋
------	------	------	------

以上 4 名が選任され、同日それぞれ就任いたしました。

第 4 号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

本総代会終結を以て退任された役員 3 名に対し、「愛知県医師信用組合役員退職慰労金贈呈基準」に基づく退職慰労金を贈呈することについて承認可決されました。

以 上

## 第 59 期 (令和 4 年 3 月 31 日現在) 貸借対照表

令和 4 年 4 月 26 日 作成  
令和 4 年 6 月 13 日 備付

住 信 用 組 合 所 名 長 古 屋 市 中 区 栄 四 丁 目 14 番 28 号  
理 事 長 愛 知 県 医 師 信 用 組 合  
柵 木 充 明

科 目		金 額	科 目		金 額
(資産の部)			(負債の部)		
		千円			千円
<b>現預金</b>		<b>46,329</b>	<b>預金</b>		<b>84,007,535</b>
預 け		31,214,899	普 通 預 金		30,735,191
有 価 証 券		45,768,452	貯 蓄 預 金		234
国 債		583,930	定 期 預 金		52,101,025
地 方 債		8,299,632	定 期 積 金		1,009,210
社 債		34,733,934	そ の 他 の 預 金		161,874
株 式		100	<b>そ の 他 負 債</b>		<b>137,397</b>
そ の 他 の 証 券		2,150,856	未 払 費 用		38,876
<b>貸 出 金</b>		<b>18,708,371</b>	給 付 補 填 備 金		1,662
証 書 貸 付		18,708,371	未 払 法 人 税 等		84,127
<b>そ の 他 資 産</b>		<b>231,064</b>	前 受 収 益		7,938
全 信 組 連 出 資 金		112,100	未 払 諸 税		3,293
そ の 他 出 資 金		7,800	払 戻 未 済 金		1,300
前 払 費 用		150	払 戻 未 済 持 分		200
未 収 収 益		107,518	<b>賞 与 引 当 金</b>		<b>16,672</b>
仮 払 金		337	<b>退 職 給 付 引 当 金</b>		<b>82,587</b>
そ の 他 の 資 産		3,158	<b>役 員 退 職 慰 労 引 当 金</b>		<b>28,923</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>		<b>6,513</b>	<b>繰 延 税 金 負 債</b>		<b>85,841</b>
建 物		130	<b>債 務 保 証</b>		<b>2,470</b>
その他の有形固定資産		6,383	<b>負 債 の 部 合 計</b>		<b>84,361,427</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>		<b>17,412</b>	( 純 資 産 の 部 )		
ソ フ ト ウ ェ ア		16,712	<b>出 資 金</b>		<b>46,770</b>
その他の無形固定資産		700	普 通 出 資 金		46,770
<b>債 務 保 証 見 返 金</b>		<b>2,470</b>	<b>利 益 剰 余 金</b>		<b>11,160,996</b>
<b>貸 倒 引 当 金</b>		<b>△ 78,977</b>	利 益 準 備 金		46,500
(うち個別貸倒引当金)	( - )		そ の 他 利 益 剰 余 金		11,114,496
			特 別 積 立 金		10,890,000
			(うち目的積立金)	( - )	
			当 期 未 処 分 剰 余 金		224,496
			<b>組 合 員 勘 定 計</b>		<b>11,207,766</b>
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		347,341
			<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計</b>		<b>347,341</b>
			<b>純 資 産 の 部 合 計</b>		<b>11,555,107</b>
<b>資 産 の 部 合 計</b>		<b>95,916,535</b>	<b>負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計</b>		<b>95,916,535</b>

第 59 期 [ 令和 3 年 4 月 1 日 から 令和 4 年 3 月 31 日 まで ] 損 益 計 算 書

令和 4 年 4 月 26 日 作成  
令和 4 年 6 月 13 日 備付

住 所 名古屋市中区栄四丁目14番28号  
組 合 名 愛 知 県 医 師 信 用 組 合  
理 事 長 柵 木 充 明

科 目	金 額	額
<b>経 常 収 益</b>		<b>667,305</b> 千円
<b>資 金 運 用 収 益</b>	<b>665,084</b>	
貸 出 金 利 息	165,449	
預 け 金 利 息	37,734	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	457,416	
そ の 他 の 受 入 利 息	4,484	
<b>役 務 取 引 等 収 益</b>	<b>532</b>	
受 入 為 替 手 数 料	302	
そ の 他 の 受 入 手 数 料	17	
そ の 他 の 役 務 取 引 収 益	212	
<b>そ の 他 業 務 収 益</b>	<b>1,688</b>	
そ の 他 の 業 務 収 益	1,688	
<b>経 常 費 用</b>		<b>439,484</b>
<b>資 金 調 達 費 用</b>	<b>62,577</b>	
預 金 利 息	61,014	
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	1,563	
<b>役 務 取 引 等 費 用</b>	<b>16,195</b>	
支 払 為 替 手 数 料	268	
そ の 他 の 支 払 手 数 料	1,392	
そ の 他 の 役 務 取 引 費 用	14,534	
<b>経 費</b>	<b>360,063</b>	
人 件 費	225,876	
物 件 費	133,662	
税 金	523	
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>	<b>647</b>	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	647	
<b>経 常 利 益</b>		<b>227,820</b>
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		<b>227,820</b>
<b>法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税</b>	<b>63,094</b>	
<b>法 人 税 等 調 整 額</b>	<b>△ 2,236</b>	
<b>法 人 税 等 合 計</b>		<b>60,857</b>
<b>当 期 純 利 益</b>		<b>166,962</b>
<b>繰 越 金 ( 当 期 首 残 高 )</b>		<b>57,533</b>
<b>当 期 未 処 分 剩 余 金</b>		<b>224,496</b>

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資1口当たりの当期純利益 35,373円41銭

剰余金処分(案)

(単位：円)

当 期 未 処 分 剰 余 金	224,496,014
繰越金(当期首残高)	57,533,489
当期純利益	166,962,525
目的積立金取崩額	—
剰 余 金 処 分 額	164,674,696
利 益 準 備 金	270,000
出 資 配 当 金 (年8%の割合)	3,682,086
事業の利用分量配当金 (預金利息100円につき20円)	10,722,610
特 別 積 立 金	150,000,000
繰越金(当期末残高)	59,821,318

以上の通りであります。

## \* 2 令和4年度事業計画の概要（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

### （骨子）

- ▶ 当組合の将来ビジョンに到達するための第二ステップとして策定した「第四次中期経営計画（令和2年度～令和4年度）」の達成に向けて、役職員全員で注力してまいります。
- ▶ 金融環境の厳しさが不変である中、当組合の経営理念である医業の発展に寄与すべく、健全で堅実な経営を継続してまいります。

### （重点課題）

#### （1）経営基盤の拡充～新規組合員数の増加

当組合設立以来のお取引をいただいている先生方がご高齢となり廃業等に伴う脱退が避けられない中、業容の拡大均衡を図っていくためには、組合員数の増加が肝要であり、愛知県医師会、郡市区医師会との連携を強化していくとともにホームページ等の広告媒体を有効に活用した認知度向上施策を積極的に展開し、組合員数の増加に努めてまいります。特に将来の柱と位置付けられる後継者及び勤務医、研修医の組合加入を一層推進してまいります。

#### （2）安定した収益基盤の確保

金融緩和政策の解除を見据えた市場金利の上昇が期待されており、資金運用利回りの改善による収益力の回復を図ってまいります。なお、生き残りを賭けた地元金融機関との競争が厳しく、当組合として適正と考える貸出金利の確保が困難なご融資案件が数多く発生している現状に対処すべく、当組合の特徴である極めて柔軟な対応を迅速に実行することによるビジネスチャンスの獲得に努めてまいります。

また、従来からコスト削減に努めてまいりましたが、経常収入の増加が期待できない状況が続くことから、厳正なる収益管理の下、役職員全員がコスト意識を高く持ち、投資効果を重視した運用を徹底してまいります。

#### （3）お客様満足度の向上～お客様本位の業務運営

当組合が存立していくためには、医師であるお客様からの期待に引き続きいくことが、最も重要なテーマであると考えております。お客様が、当組合に対し何を期待されているのか、何を望んでおられるのかを十分理解したうえで、お客様本位の業務運営を徹底してまいります。また、役職員一人一人が正確で、迅速な応対を自律的に実践し、お客様の期待を超えるサービスを実現できるよう日々努めてまいります。

#### （4）コンプライアンスの遵守、サイバーセキュリティ対策

当組合が金融機関としての社会的責任と公共的使命を全うし、お客様からのゆるぎない信頼を得られ続けていくためには、国内外のあらゆる法令や社会的規範等を厳格に遵守した上で、公正かつ堅実に行動していくことが求められております。

特にお客様の大切なご預金と情報を適切に管理していくためのサイバーセキュリティ対策を重要な経営課題として認識し、様々な対策を進めてまいります。また、国際的に強く要請されているマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策につきましても、重要な経営課題として位置付けし、経営陣による主体的関与の下、適切な内部管理態勢を構築してまいります。